

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和3年5月11日

学校名 福井市下宇坂小学校

校長氏名 兼上 泰行

1 今年度の目標（学校の約束）

- ① 下宇坂地区の環境、地球環境について学習します。
- ② 学校で節電や節水に努めます。
- ③ 地域と連携し清掃活動やリサイクルに努めます。

2 取組内容

①環境学習

- ・下宇坂地区の自然環境について学習します。

②節電・節水の取り組み

- ・各学級で、使用していない教室や廊下、トイレなどの照明をこまめに消します。

③地域と連携して分別回収・清掃活動

- ・委員会活動を中心として、ペットボトルキャップ集めに取り組みます。
- ・アルミ缶や古紙の回収をPTAや地域と連携して実施します。
- ・委員会活動を中心として、全校で学校内外のごみを減らすための取組を行います。
また、ごみの分別を徹底します。

★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。）

環境学習では、地域の方々に学びながら森林の役割とそこに生息する生き物の関わりについて協力して学ぶ力を身につける。（コミュニケーション・協力）

福井市学校版環境ISO 実施報告書

学校名 下宇坂小学校	
1 今年度の目標（学校の約束） ① 下宇坂地区の環境、地球環境について学習します。 ② 学校で節電や節水に努めます。 ③ 地域と連携し清掃活動やリサイクルに努めます。	
2 取組内容 ①環境学習 ・下宇坂地区の森の学習 3・4年生は、森の学習を行いました。学校林「うさかの森」で、木の切り倒しを行いました。森林組合の方から、間伐の意義や方法について教えていただき、どの木を間伐するとよいかを考える学習をしました。また、校区内の製材所に行き、自分たちが伐採・運搬を手伝った木が木材に加工される様子を見学しました。製材所の職員の方々から、丸太をどのようにして四角い建築材にしていくなかということなどを教わりました。 ・「うさかの森」の木を使って 3・4年生で木の活用法を話し合い、森林組合の方に提案して、「うさかの森」の屋根を作ってくださいました。棟上式には児童も参加し、屋根を作る様子を見学もしました。また、図工の「ギコギコトントンクリエイター」では、「うさかの森」の木を材料に使いました。   ②環境委員会の取組 環境委員会では、目標の一つである節電・節水を継続して呼びかけながら、学校や地域、地球の環境を守る活動の一環として、次の活動を行いました。 ・ペットボトルキャップ集め 環境委員会では、学校でできるエコ活動について話し合い、ペットボトルキャップを集めることにしました。ペットボトルキャップは買い取られ、そのお金が世界の子供たちの予防接種に活かされるとのことです。環境委員が校内放送で回収の目的を知らせ、回収日には玄関に立って呼びかけをしたり、持ってきた人に感謝状を渡したりしました。	

・ごみ分別の呼びかけ

委員会の児童が、週に1回、そうじ後に全校のごみを集めて回ります。ごみ袋に無駄が出ないように、できるだけ1枚の袋に入れるように心がけています。また、ごみの分別の意義や方法について知らせるために、環境委員会で動画を作りました。クイズや劇を取り入れ、楽しくごみの分別について学ぶことができるように工夫していました。

★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。）

①の環境学習では、ふるさと美山の自然や産業の一端に触れることができました。実際に林業に従事している地域の方々から、木を育て最終的に建築材に加工するまでを教えていただきました。また、身近な美山杉を図工の学習に活用したり、「うさかの森」の屋根を作っていただいて、その様子を見学したりすることで、木のよさを再認識し、あらためて地域の産業のすばらしさやその価値について考える機会をもつことができました。（相互性・連携性・多様性）

3
見直し

【具体的効果】

- ①3・4年生の児童は、低学年の頃から「うさかの森」で遊んだり、学習の見学をしたりしてきました。自分たちが中心となって森の学習を進める番になり、木の活用方法などを意欲的に考えていました。
- ②環境委員会では、児童が自分たちで環境のためにできることを考え、工夫しながら取り組んでいました。ペットボトルキャップ集めでは、児童のアイディアでポイントカードや感謝状を作りました。また、ごみの分別についてのクイズや動画を作ることを通して、普段の生活の中でも、ごみを分別して捨てる姿が見られるようになりました。

【改善点】

- ・手洗いの時には水を止める、教室から出る時は電気を消すなどといった行動が当たり前のこととしてできる児童が多いです。それも環境を守る取組の1つだということを再認識させ、下宇坂のよさとして広めていきたいです。
- ・ペットボトルキャップ集めだけでなく、いろいろなエコ活動を知り、児童自身の選択で取り組んでいけるようにしていきたいです。
- ・「森の学習」を通して培った、森や木を大切にする思いや知識を、学校の中だけでなく、地域や他の学校にも発信できるとよいと思います。